

第7回雲南市下水道事業に関する審議会 議事録

1. と き：平成27年5月26日（火） 午後1時20分～午後2時20分

2. ところ：雲南市水道局1階会議室

3. 出席者

（審議会委員）

金山壽忠会長、若槻秀夫副会長、石橋正俊委員、難波治美委員、坂田和子委員、塔間絹子委員
勝部新治委員、難波 勝委員、坪倉要輔委員、片寄健治委員

（委員10人）

（事務局）

藤井副市長

稲田部長、岸野次長、土屋営業課長、菅田下水道課長、藤原統括主幹、山本副主幹、
山根副主幹（事務局8人）

[次第]

1. 開会（菅田）

（1）欠席者の報告

（陶山保子委員、本間良一委員 2人）

（2）雲南市下水道事業に関する審議会条例第6条第2項に基づき、委員の半数以上が出席して
おり会議が成立していることを報告。

2. あいさつ

金山壽忠会長

藤井副市長

-----以後、審議会条例第6条第3項に基づき、会長が議長となる-----

3. 審 議

会長

審議に入る。

議題1 平成27年度予算概要について

議題2 平成27年度下水道主要事業について

議題3 平成26年度下水道使用料過年度分収納状況
関連があるので一括して事務局からの説明を求める。

事務局

（1）平成27年度予算概要について説明。

（2）平成27年度下水道主要事業について説明。

（3）平成26年度下水道使用料過年度分収納状況説明。

[質疑・応答]

会長

説明が終わりましたが、何か意見質疑がありますか。

会長

過年度分収納状況は、昨年度よりよいが、本年度は過年度分 60%いくのではないですか。

事務局

60%は、難しい。52%程度になるとおもいます。

会長

努力していただいているが、100%近くにしてほしい。

難波治委員

未納の方は、どの程度収納可能ですか。

事務局

全てにおいて収納していただきたい。下水道使用料は、水道料金と同じような方法で規定に基づいて収納しています。支払われない場合は、水道の供給停止もあるので、下水道から先に収納していただいています。

坪倉委員

下水道事業の広域化、保守管理はどう考えておられるのか伺います。

事務局

下水処理場に多額な費用がかかるので、将来的には公共下水道であれば隣接する農業集落排水の取り込みも考えていく必要があります。

会長

議事にかかわらず他に意見は、ありませんか。

片寄委員

下水道の普及率は、どの程度ですか。使用料が減っているのは、人口の減少が原因ですか。

事務局

使用料は、600 万円余りの減です。水道も 10 万トンくらい減るとおもいます。

事務局

普及率は、88.6%です。下水道、農業集落排水は高いですけど、合併浄化槽・個別処理が残っています。

若槻委員

合併浄化槽は、本年度 70 基予定されているが、申込みはどれほどありますか。

事務局

本年度は、70 基を予定しており、現在約 30 基の申込みがあります。

会長

あとどれくらいの合併浄化槽の設置が必要ですか。

事務局

現在約 2,800 箇所設置しており、全体では、約 4,000 箇所程度になるとおもいます。

片寄委員

木次・三刀屋浄化センターの汚泥発酵施設は、現在停止しておられるが将来の汚泥処理方法は、どうなりますか。

事務局

余剰汚泥については、建設予定の雲南クリーンセンターの汚泥共同処理施設に送泥します。

そうすると、木次・三刀屋浄化センターの脱水機などの処理施設の増設・更新・維持が不要となります。

坂田委員

下水道使用料の収納状況で、特定環境保全公共下水道の収納率が悪いがどうしてですか。

事務局

数字は、確定したものではありません。大口の滞納者などがあり、金額だけで収納率が悪いとは、言えません。

会長

特に目立つから、質問されている。水道料金についても滞納しておられますか。

事務局

下水道使用料を先に収納しています。水道料金についても同じ傾向があります。

会長

特定環境保全公共下水道が特に低いので対策を考えてほしい。

事務局

最終的には、若干減ります。対策については、検討していきます。

会長

その他意見は、ありますか。ないようですのでここで稲田部長より下水道について一言賜りたい。

部長

(水道、下水道の使用料・整備の必要性、公営企業会計に向けた取り組みなど説明)

会長

意見は、ありますか。ないようですので本日の審議会は、終了いたします。

会議終了

14時20分



【審議会 金山会長挨拶】



【審議会 審議状況】